

第20回学校水泳研究会

期日： 令和3年6月5日（土曜日）午前10時～16時

場所： [zoom*](#)によるオンライン会議

主催：学校水泳研究会

後援：（一般社団法人）徳島県水泳連盟・科学委員会

対象：学校水泳・水泳指導に関係するすべてのの方々



研究会 HP



Facebook イベント

プログラム

10:00

開会行事

午前の部 座長：石川雄一（香川大学）

10:10～10:40 子どもと共に考える「学校水泳」-自作教材『みんなで「考える」水泳運動』を活用して-
(三木寿人, 高松市立十河小学校)

10:40～11:10 水泳授業の三密回避マニュアル

(東野伸哉・松田元宏, 徳島市津田小学校)

11:10～11:40 曇水練の意味を覆す～陸での水泳指導法「エアスイム」の有効性～

(森山進一郎, 東京学芸大学)

11:40～12:10 児童における観察的動作評価を用いた平泳ぎの指導課題の検討

(豊田郁豪, 東京学芸大学大学院)

午後の部 座長：下永田修二（千葉大学）

13:00～13:30 コロナをプラスに！メンタルプラクティスによる安全水泳の指導

藤本秀樹（慶應義塾幼稚舎），鳥海崇（慶應義塾大学）

13:30～14:00 水中での自己保全能力を高めるために大学水泳授業では何が必要か？

-ベテラン大学水泳授業担当者のインタビュー調査から-

(山中裕太, 筑波大学大学院)

14:00～14:30 四肢麻痺を有する一般大学生の泳ぎの特徴

(浜上洋平, 水上拓也, 大阪体育大学)

14:30～15:00 水難時の対処方法が安全確保の可能性に及ぼす影響

(松井敦典・篠原健真, 鳴門教育大学大学院)

15:00～16:00 ディスカッション：

コロナ禍だからこそ大切にしたい 水泳を学ぶことの意義と価値

コーディネーター：大庭昌昭（新潟大学）

参加費用：無料

問合せ先：鳴門教育大学大学院 高度学校教育実践専攻 保健体育科教育実践分野
松井研究室（088-687-6520、matsui@naruto-u.ac.jp）まで